

## マスコミ各位

平成30年12月25日（火）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：久高、仁平

電 話：098-866-2215

## つつが虫病の発生について

宮古保健所管内において、ダニ媒介感染症である「つつが虫病」の患者が3例診断されたことから、医療機関及び広く県民への注意喚起のため情報提供を行います。

ダニ媒介感染症である「つつが虫病」は、県内では平成20年以降、宮古保健所管内ではほぼ毎年患者が発生しています。これまでの発生時期は4～7月及び9～12月であり、これまで発生した29例中27例において、発症5～14日前の池間島での行動歴等が確認されています。

つつが虫病は、一般に予後良好ですが、治療が遅れると死亡率が高くなる感染症です。国内においても平成19～28年に発生した患者のうち、約0.5%が亡くなっており、県内においても、平成28年に1名がつつが虫病により亡くなっています。山林や野原、畑等に立ち入って1～2週間後に発疹や発熱の症状が現れた場合は、早期に医療機関を受診し、行動歴等を医師へ伝えてください。

### 平成30年に発生した患者の情報（平成30年12月21日現在）

症例	診断日	年齢	性別	推定感染地域	池間島での行動歴	推定感染地等	刺し口	備考
No.1	11/30	70代	女性	宮古島市	無	No.2が畑作業時に着用していた衣服	右上腹部	No.2の家族 12/1 退院
No.2	11/30	70代	男性	宮古島市	有	畑	左下肢膝下外側	入院中
No.3	12/20	70代	男性	宮古島市	有	畑	右鼠径部	入院中

### 【つつが虫病とは】4類感染症

つつが虫病は、つつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を起因病原体とし、山野に入り病原体を保有するダニ（ツツガムシ）に刺されて感染する。ヒト→ヒト感染はない。

臨床症状：発熱(38℃以上)、リンパ節腫脹、発疹、刺し口。

潜伏期：5～14日

治療：テトラサイクリン系の抗生物質等による治療。一般に予後良好。

発生状況：我が国では北海道を除く全都府県から患者が報告され、ここ数年は年間300～400人の患者が毎年報告されている。

**【予防】：**

- ・山野に入る際には、肌の露出を少なくし、防虫スプレーを適宜使用する。
- ・むやみに地面に腰を下ろしたり寝転んだりしない(座る時は敷物を使う)。
- ・脱いだ服を草むらに放置しない。
- ・帰ったらすぐに入浴(シャワー)する。
- ・着用した服は使い回さず、その日で洗濯する。
- ・山林や野原に立ち入って1~2週間後発疹や発熱の症状が現れたら、すぐに医療機関で受診する。

**【参考】 県内のダニ媒介感染症発生状況**

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	合計
つつが虫病	1		1	2		1	2	4	10	5	3	29
日本紅斑熱			1	1	1					1		4
SFTS									1			1

※2018年は2018年12月21日時点の報告数

※2008年の「つつが虫病」1例は県内初報告例

※2010年の「日本紅斑熱」1例は県内初報告例

※2016年の「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」1例は県内初報告例

**参考 URL（沖縄県感染症情報センターHP より）**

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/documents/2012tutugamusi.pdf>